

ソーシャルイノベーション研究所

Social Innovation Laboratory

研究所の概要

1. 目的

社会にて常に発生・存在している様々な課題に注目し、これら社会課題の本質を洞察し、主に ICT・AI などの新しい仕組みや技術・制度・サービスで解決するための研究・実証を行います。

2. 設置期間

2026年4月1日～2030年3月31日

3. メンバー

4名（所長を除く）

4. 活動概要

実社会には、地域格差縮小、地域創生、カスタマーハラスメント対策、健康寿命の延伸、障害のある人の支援・合理的配慮、フレイル症状の改善などの社会生活における課題もあれば、産業界に目を向ければ、人手不足低減、生産性向上、品質・信頼性向上、革新的技術・製品の創生・適用など実に様々な課題が常に発生・存在している。これらの課題の中から重要課題を取り上げ、近未来の社会を良くするための新しい取り組みを生み出し、試して、広げる研究を行う。



所長

浪岡 保男

NAMIOKA Yasuo

キーワード

生産システム、LLM、VLM、ビッグデータ応用システム、作業・行動認識、情報支援、XR 応用システム、機械学習

令和8（2026）年度の計画

(1) 地域創生・地域格差縮小に関する研究

スキル・サービス・製品需給管理の仕組み創生とリスクリングの仕組み構築を検討するにあたり、地域創生・地域格差縮小に関連するスキル・サービス・製品の調査と定義を行う。

(2) 障害のある人の情報支援に関する研究

障害のある人のための情報を補完する仕組みを検討するために、障害のある人のモチーフを設定する。また、情報が不足する場面・要因を調査する。

(3) XR 等を用いる生産性向上・産業技術・技能伝承に関する研究

生産性向上・産業技術・技能伝承の仕組み構築を検討する。産業界と共同で重要課題を選定し、その本質をとらえる。